

令和4年度 「第2回千葉県安全性向上プロジェクト委員会」
議事要旨

■日時

令和5年3月6日（月）15:00～17:00

■場所

千葉国道事務所 202会議室

■出席者（敬称略）

千葉工業大学 創造工学部 教授	赤羽 弘和【委員長】
千葉県警察本部 交通総務課	高戸 敦（代理出席）
千葉県警察本部 交通規制課	岩下 貴也（代理出席）
一般社団法人千葉県トラック協会	小出 寛（代理出席）
一般社団法人千葉県バス協会	成田 斉
公益財団法人千葉県交通安全協会	渡邊 浩一
一般社団法人千葉県安全運転管理協会	小林 経明
株式会社千葉日報社	早乙女 謙司郎
千葉県 県土整備部 道路環境課	西潟 敬幸（代理出席）
千葉県 環境生活部 くらし安全推進課	原田 教宏（代理出席）
千葉市 建設局 土木部	山口 浩正
国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所	竹田 弘明（代理出席）
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所	小島 昌希

事務局 国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

■議事

(1) 幹線道路の交通安全対策について

- スムーズな走行への改善の結果、走行速度が高くなり、その結果、事故が増加する交差点があることはこれまでの経験からもわかってきている。走りやすくするのみならず、注意して走行する視点も重要である。
- スムーズな走行への改善の結果、事故が増加することもある一方、渋滞により注意散漫を誘発し事故が発生することもある。安全対策には対策内容の事故について改善した一方、他方の事故を誘発したりするという「副作用」がでることがあるため、効果検証のためPDCAサイクルにより改善していくことが重要である。

(2) 生活道路の交通安全対策について

- 生活道路の安全対策に関する効果指標についてはまだ確立されていないと認識している。生活道路の安全対策の輪が広がり、多くの事例が集まることで効果指標の確立に寄与することに役立つと考える。
- 対策を行った後には、効果検証のためPDCAサイクルにより適宜見直しなどを行って頂きたい。どのような対策を実施したかはホームページでの紹介など、情報発信をしていただきたい。

(3) 「ゾーン30プラス」整備計画（案）の審議について

- 千葉県市原市「ちはら台南6丁目地区」を審議頂き、了承された。

以上